



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2022
12.28
No.102

CONTENTS

特集

介護福祉経営士 全国会議2022 開催
混迷の時代の介護経営に
おける課題解決の道筋を探る

2

●介護福祉経営士セミナー
開催のご案内

4

●今月の介護ビジョン
●「登録アドバイザー」
制度のご案内

5

●介護経営に役立つ
推薦図書のご案内

6

●『高齢者等理解・体験・
安全マネジメント研修』実施
●第6回 日本ヘルスケア
ダイバーシティ学会開催

7

●イベント紹介
●介護経営Lab投稿募集中!!

8

【特集】介護福祉経営士全国会議2022開催 混迷の時代の介護経営に おける課題解決の道筋を探る

特別企画「介護福祉経営士の行方とこれから求められる介護福祉人材」

令和4年版厚生労働白書

○就業者数
・2021年 6713万人→2040年 5245万人～6024万人

○医療・福祉就業者数
・2018年 826万人(12%)
→2040年需要 1070万人(18～20%)
2040年供給 974万人(16%)
96万人不足

介護福祉経営士 全国会議2022
介護福祉経営士の行方と
これから求められる
介護福祉人材

講演講演「混迷の時代を乗り切る「介護福祉経営士」」

II これからの10年を目指して

①人材不足対応 大人口減少社会からの脱出
・日本の労働人口年齢を15～60歳→20～70歳へ

②働き方改革
・週休3日体制、女性管理職を半数に
・介護助手、定年延長、副業制度など多様な対応
・ワークショップ(高齢者、障がい者、主婦)、健康経営の推進
・介護福祉士2割にプラス1年で准看護師同等資格の取得
名称と占め、業務独占資格へ

介護福祉経営士 全国会議2022
混迷の時代を乗り切る
「介護福祉経営士」

高江 啓
株式会社「介護福祉経営士」代表取締役

一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会



お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局

☎ 03-3553-2896

http://www.nkfk.jp

〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号
S-GATE八丁堀9階

制作:株式会社日本医療企画

混迷の時代の介護経営における 課題解決の道筋を探る

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会は、協会創立10周年を記念し、「混迷の時代を乗り越える“介護福祉経営士”——マネジメント力と組織力を向上させる職域を考える」を大テーマに、特別講演、基調講演、介護福祉経営士による全国会議で構成する「介護福祉経営士 全国会議2022」を開催した。本特集ではイベントの内容をレポートする。

特別講演

介護保険制度の行方と これから求められる介護福祉人材



宮島 俊彦氏

兵庫県立大学客員教授/
元厚生労働省老健局長

技術革新の只中にある介護業界の課題について、 マクロ的な視点から考える

講師の宮島氏はまず、現在の介護業界を取り巻く課題の一つとして「医療・介護の財政的枠組み」が「社会保障費削減」のために窮屈な形で運用されている点を挙げ、予算の立案の際、医療と介護における社会保障費をどのようにコントロールするかばかりに重点を置いている現状を指摘。こうした状況に対応するための政策として、健診・フレイル予防などにより要介護対象者を抑制する「需要コントロール政策」、介護事業者側の効率化や大規模化による「供給コントロール政策」、介護報酬の調整による「価格政策」、利用者負担等の調整による「給付水準調整策」、保険料と公費による「財源対策」などが行われていると語った。

次に、財政的な課題以上に深刻な課題として「介護マンパワーの不足」についても言及。「2040年には医療・福祉の就業者数は約96万人が不足する」とする厚生労働省

の資料を紹介し、「少ないマンパワーを織り込み済みで考えて行く必要がある」と述べた。

こうした状況に対して現在行われている対策として「ロボット・AI・ICTの活用」「タスクシフト/シェア」「多様な人材の確保・参入の促進」「法人の多事業経営」「多職種連携」「地域共生社会への取り組み」について解説を行った。

また、人材を育成するにあたって、医療・介護・福祉の専門資格に共通の基礎課程を設け、一人の人材が複数の資格を取得しやすくする取り組みを推進すべきであると強調。取り組みの例としてフィンランドにおけるラヒホイタヤ（社会・保健医療共通基礎資格）について紹介した。

続いて「地域包括ケアの課題」についても触れ、①介護予防事業の普及、②自立支援に資するサービスになっているかの検証、③在宅で重度者支援・看取りをするための環境整備、④生活支援・福祉サービスへの取り組み方の再検討、⑤適切な住まいと住まい方のための環境整備——などについて考えて行かなければ地域包括ケアの実現は難しいと語った。

最後に宮島氏は「医療・介護のDX」についても取り上げ、「介護のDXビジョン」として「オンラインによるケアの引継ぎ・管理、請求管理」「AIによる要介護認定・ケアプラン支援」「オンライン地域包括ケア」などを紹介したうえで「DX化は今後より進んでいく」と断言。「介護保険制度は成熟期を迎えつつあり、財政的な制約、マンパワーの制約がある中で、サービスの質をいかに向上させていくかということが大きな課題となっている。そうした課題解決のために必要とされているものこそ『経営』であり、介護福祉経営士の役割は今後ますます重要になる」と述べ、「ICT、AIなどの技術革新によって、介護現場は激しく変化しており、マクロ的な視点から課題を整理していく必要がある。

介護福祉経営士の皆さんには今後10年の取り組みを一層強めていただき、介護現場の改善のためにご活躍いただきたい」と語った。

基調講演

混迷の時代を乗り越える “介護福祉経営士”



廣江 研氏

社会福祉法人こうほうえん会長/
協会中国支部長

介護福祉経営士誕生からの10年を振り返り、 これからの10年を展望する

講師の廣江氏は、介護福祉経営士誕生からの10年の歩みについて「この10年の中で私が重要な改革だと感じたのは、地域ケア包括システム構想の下、地域全体の生活を皆で助け合っていこうという流れができたことだ」と語った。

また、それ以外の注目すべき変化として「介護福祉士の質の向上や地位の向上の議論や、外国人人材の参入の促進など人材に対する環境の変化」や「ICT機器などの導入による生産性の向上によって少しずつ変わりつつある介護業界への評価」「制度の変化によって介護市場への注目度が高まり、介護業界へ参入する法人の多様化が進んでいること」「医療施設から介護施設、在宅へと看取りの場が変わっている点」などを挙げた。

続いて廣江氏は、これからの10年をめざすための課題として次の5つ挙げた。

- ①人材不足への対応を強化し、大人口減少社会からの脱出を図ること
- ②週休3日体制の推進や、女性管理職の登用強化、定年延長、副業制度の導入、ワークシェアリング、健康経営の推進などの働き方改革を推進すること
- ③教育研修制度を充実させることで介護の生産性の向

上と人材育成を推進。10年後には看護のステータスと同等レベルの評価をめざすこと

- ④LIFEの質の向上と経営力向上への活用、音声や画像システムの発展など、ICT・ロボット・AI・DXの効果的な活用

- ⑤地域連携法人化などを推進し、共生社会の中核として地域と共に歩む介護事業経営を行うこと

また、こうした課題解決において介護福祉経営士に求めることとして「専門的な知識の取得のもと、ロボット、DXなどの活用について専門的な立場から発信し、実行していただきたい。介護福祉経営士の専門性を発揮することで、ロボットとヒトにしかできないことを融合した新しい体制づくりにおいて、中心的役割を担うことができるはず」と述べ、生産性の向上、効率化を視野に入れた新しい技術革新を実践する中心的存在として、介護福祉経営士への期待を語った。

全国会議

マネジメント力と組織力の向上について、 現場目線で徹底討論

全国会議は「介護事業のマネジメント力と組織力を向上させる職域を考える——職員が働きやすい職場環境の整備に不可欠な条件とは」をテーマに11月25日にライブ配信で行われた。

ディスカッションは、青木正人氏(株式会社ウエルビー代表取締役/一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 理事)を司会役とし、登壇者として田中卓氏(株式会社ファミリーケアサポート 代表取締役/介護福祉経営士1級)、堀雅洋氏(社会福祉法人うらら 在宅介護部部长/介護福祉経営士2級)、辻中勝氏(株式会社Twins family代表取締役/介護福祉経営士1級)、河野寛之氏(株式会社ローカルトレイン 代表取締役/介護福祉経営士2級)を迎えて行われた。

まず、はじめに青木氏は「より上位の職種をめざしたい」と回答している介護スタッフが20%程度しかいないという公益財団法人介護労働安定センターの介護労働実態調査のデータを引用。「若いスタッフが上をめざさない理由は何か」との問題提起を行った。

これに対し登壇者からは「責任の重さに対し、報酬が見

合っていない(堀氏)」「仕事内容やマネジメントそのものに対する現場の理解が浅い。管理者になる前から研修などを通じて仕事の内容などを伝えていく必要がある(田中氏)」といった意見が挙がった。

次に青木氏は「スタッフの仕事のやりがいについてどのように考えながら介護経営を行っているか?」と問いかけ、それについては次のような意見が挙がった。

「スタッフから“正月に利用者のために餅つきをしたい”といった意見が出てきます。しかし、こうしたことは介護報酬にはつながりにくく、経営上は“無駄”と映りがちです。しかしこうした“無駄”こそ“やりがい”につながるものと考えています(河野氏)」「介護業界における動機づけは、達成や承認、自己成長だけでなく、人間関係が要因としてとても大きいと感じています。“一人の利用者のアセスメントにしっかりと時間をかけたい”といった非効率的に見えることがモチベーションにつながっている場合もあります。スタッフの思いを大事にしたうえで効率について考えていきたいと思っています(田中)」

また、会議では視聴者からの質疑応答にもリアルタイムで回答が行われた。

視聴者から寄せられた「スタッフをマネジャーとして選

ぶ際に重視しているポイントは?」という質問に対しては「チーム内のバランスを見て決めることが多い。積極的なスタッフが多いチームには維持管理が得意な人材をマネジャー据え、逆に維持管理型のスタッフが多いチームにはチームをけん引できる人材を選ぶようにしています(田中氏)」「他人に対してネガティブなことを言わない、視野が広いか、前向きかといった点を重視しています(辻中氏)」といった回答が挙がった。

最後に青木氏は介護保険制度をめぐる状況やニーズが20年前とは大きく変わってきている点を指摘。「今回の議論では登壇者の皆さんがそれをしっかりと受け止めて解決策を考えているということがよくわかった」と述べた。また、介護特有の難しさとして解決できない課題を抱えながらもその課題とどう向き合っていくかを考えて行かなくてはならない場合が多いことについても言及。「その点を今回登壇していただいた皆さんはよく理解されていると思う。ICTなどの目に見える部分だけではなく、こうした皆さんの意志について伺うことができた今回の会議は、視聴された皆さんにとって色々なヒントを得られる内容であったのではないかと述べ、「介護の新しい時代が来ていると感じた」と語った。

Check!

介護福祉経営士全国会議のプログラムをアーカイブ配信中!

お申し込みは協会HP特設ページへ

<https://conference-nkfk.jp/>



介護福祉経営士セミナー開催のご案内

重要情報を先取り! 2024年度介護保険法改正のポイント

大きな変革が予想される2024年の医療・介護同時改定。制度改正に向けた議論が本格化しつつある今、介護経営にはどのような影響が考えられるのでしょうか?

本セミナーでは介護制度研究の専門家である小濱道博氏を講師に迎え、今最も注目すべき介護保険制度改正のポイントについて解説していただきます。



介護経営の最前線で活躍する介護福祉経営士のみならず、介護事業へのアプローチを考えている他業界の介護福祉経営士の皆さんにもぜひ聞いていただきたいセミナーです。

■日 時:2023年2月28日(火)14:00~15:00

■講 師:小濱道博氏

(小濱介護経営事務所 代表/株式会社ベストワン 取締役)

■会場:オンライン開催 (ZoomによるWebライブ中継)

■参加費:会員 = 無料 一般 = 2,000円(税込)

※会員とは介護福祉経営士、医療経営士、
栄養経営士の正会員(申請中も含む)をさします。

詳細はこちらから

<http://www.nkfk.jp/seminor.html>



地域のニーズをすくい上げ
地域から超高齢社会を支えていくための
視点を具体的事例とともに掲載

介護ビジョン

今月の

第1特集

「経営理念通りに職員が動いてくれない」と嘆く経営者は多いが、その理由として「心豊かな介護を提供します」などと漠然としていて具体性に欠くものであったり、そもそも経営理念を職員が知らない・説明を受けていないといったケースもよく見られる。経営理念が「額縁に入れて飾ってあるもの」になっていないだろうか。誰もが「腹落ちする」理念とはどういうもので、それを浸透させ、事業所運営に活かすにはどうすればいいか、「理念経営」の実践例などから探る。

想いが浸透し組織が強くなる 介護事業の理念と経営

- 解説** 経営理念のない経営は真っ暗闇を懐中電灯も持たずに歩くに等しい
金沢幸蔵氏
(株式会社川原経営総合センター 経営コンサルティング部門 介護経営戦略グループ)
- 事例1** 企業風土の違いを乗り越えるためにも機会をとらえて理念を語り続ける
SOMPOケア株式会社
- 事例2** 「創業の物語」が原点理想に向けて職員の“基準点”を上げる
社会福祉法人合掌苑
- 事例3** グループ全体での理念実現に向けて各施設で「共有プロジェクト」を実施
社会福祉法人不二健育会 ケアポート板橋
- 事例4** 2度にわたる理念の見直しを組織改革や新規事業につなげる
社会福祉法人あかね
- 考察** 中間層の育成が理念を浸透させる鍵となる
種橋征子氏 (関西大学人間健康学部准教授)

第2特集

新春特別インタビュー 介護への提言 真に私たちに必要な介護とは

2023年1月号
(2022年
12月20日発売)



<http://www.jmp.co.jp/carevision/>

- 毎月20日発行
- 定価: 1,320円(税込)
- 定期購読料: 15,840円(税込)
- ※ 会員価格は12,672円(税込)

【購入に関するお問い合わせ】
株式会社日本医療企画 Tel:03-3553-2891



「登録アドバイザー」制度のご案内

株式会社日本医療企画



株式会社日本医療企画が運営するヘルスケアマネジメントの情報サイト「ヘルスケア・マネジメント.com」にて「登録アドバイザー」制度を運営しています。医療経営士、介護福祉経営士、栄養経営士の皆様にサイト上で「登録アドバイザー」にご登録いただくと、福祉施設・企業等がその情報を自由に閲覧・検索できるシステムです。経営士の方であればどなたでも無料で登録が可能となっております。

困りごとを抱える福祉施設・企業等と今大活躍中の経営士とをつなぐ場となっておりますので、皆様の活動の場を広げるきっかけとしてぜひご活用ください。

HC ヘルスケア・マネジメント.com

<https://healthcare-mgt.com/adviser-list/about-adviser/>



■お問い合わせ:ヘルスケア・マネジメント.com事務局(株式会社日本医療企画内 Tel:03-3553-2863)

▲詳細・登録はこちら

介護経営に役立つ推薦図書のご案内

※下記書籍の注文書(会員割引適用)は協会ホームページよりダウンロードすることができます。

国民の介護白書2022年度版

日本の介護力を徹底検証 人生100年時代を生き抜く10の提言



- 第1部 日本の介護力を徹底検証——人生100年時代を生き抜く10の提言
・介護離職の現状と課題、ヤングケアラーの実態調査と課題、介護福祉士養成の課題と将来展望 など
- 第2部 介護業界の課題と今後の動向
・介護業界を支える強いリーダーの育成、介護のデジタル化によるサービスの質向上の実践と課題 など

編集委員：青木 正人(株式会社ウエルビー代表取締役)
川淵 孝一(東京医科歯科大学大学院医療経済学分野教授)
定価：3,960円(税込)⇒会員価格：3,168円(税込)
体裁：B5判・並製/2色/216ページ

医療白書2022年度版

DXがもたらす日本の医療の新潮流——コロナ禍で得た教訓を未来につなげ!——



- 巻頭言 身近な医療DX、身近な医療変革
- 特別企画 DXがもたらす日本の医療の新潮流
【鼎談】医療DX最前線——成功のための実践的思考法 など
- オピニオン コロナ禍で得た教訓を未来につなげ!
【提言】医療職の働き方改革とタスクシフト・シェア、日本の医療の諸問題と将来展望 など
- 資料 データから読み解く医療DXの状況
我が国におけるDX/医療DXに関する動き、令和4年度診療報酬改定と医療DX など

監修：今中雄一(一般社団法人日本医療・病院管理学会理事長/
京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻医療経済学分野教授)
定価：本体4,950円(税込)⇒会員価格：3,960円(税込)
体裁：B5判・並製、256ページ

医療経営白書2022年度版

もはやコロナ後ではない——

地域中核病院の事業戦略大研究と職域確立がもたらす未来



- 視点 我が国の医療提供体制と医療機関経営
- 第1部 特集① 地域を支える医療機関のこれからの事業展開を探る
特集② 経営部門における職域確立がもたらすもの
- 第2部 医療界最新経営情報——2022年度トピックス
2024年度診療報酬・介護報酬同時改定への見通し、医薬品・医療機器業界の動向 など
- 第3部 病医院経営関連データ集

編集委員代表：吉原 健二(日本医療経営実践協会代表理事)
定価：5,720円(税込)⇒会員価格：4,576円(税込)
体裁：B5判・並製/2色/328ページ

医療経営の確立をめざして

ヘルスケア業界データブック2022 数値で理解する医療・介護・関連産業の経営動向



- 第1部 【分析編】
医療政策の動向と2022年度の診療報酬改定、医療現場のデジタル化 他
- 第2部 【データ編】
医療、介護、関連産業の最新動向 他

監修・編集：株式会社日本政策投資銀行/株式会社日本経済研究所
定価：3,300円(税込)⇒会員価格：2,640円(税込)
体裁：A4判/320ページ



第6回 日本ヘルスケアダイバーシティ学会開催

第6回日本ヘルスケアダイバーシティ学会(大会長＝安藤高夫・医療法人社団永生会理事長)が11月3日、東京都港区の国際医療福祉大学東京・赤坂キャンパスおよびオンラインで開催された(一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 後援)。

日本ヘルスケアダイバーシティ学会は、企業や行政を含む医療・介護・福祉領域で活躍する多くの人材と情報を共有しつつ、学問としてヘルスケア分野におけるダイバーシティについての調査と研究を行い、ダイバーシティ・マネジメントの普及を目指す目的で設立された。第6回となる今回は『多様性がつながり、人づくり・組織づくり・地域づくり』をテーマに開催。萩原なつ子氏(独立行政法人国立女性教育会館理事長、NPO法人日本NPOセンター代表理事)による特別講演は「東京都豊島区『としまF1会議』から考えるWell-Beingなコミュニティ」と題して行われた。Well-Beingなコミュニティづくりの例として「女性に優しい、女性が住みたくなる、来たくなるまちにする」を掲げ、対応策を審議する「としまF1会議」が紹介された。

続いて、シンポジウム「医師と医療従事者の働き方改革」では、医師の働き方改革についての議論や職員が子どもを産み育てやすい環境づくり、シニア雇用に関する取り組み、デジタルトランスフォーメーションによる労働時間の削減などについて解説とディスカッションが行われた。会場とオンライン参加者からの質問も交えて議論が進み、学会は盛況のうちに幕を閉じた。



東京会場とオンラインのハイブリッドで開催された学会の様子



『高齢者等理解・体験・安全マネジメント研修』実施

『高齢者等理解・体験・安全マネジメント研修(サービスケアサポーター)』が11月6日に行われた。本研修は一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会が認証したプログラムを元に、高齢者や障害者の特性・特徴を理解し、『顧客満足度の高い接客サービスへ展開できる人材』を育成するために行われており、修了者は『サービスケアサポーター』として活動することができる。

研修は約1日かけて行われ、高齢者の特徴やコミュニケーション・接遇の基本事項等に関する講義を受け、高齢者および身体障害者の疑似体験(片マヒ疑似体験セット、疑似体験眼鏡等を装着)、車いす・歩行介助演習を行った。その後、高齢者への安全サービスの充実について話し合い、現場に反映させる方法などについてグループワークが実施された。

近年、さまざまな業界において高齢者顧客はコアターゲットとして認知されており、サービスケアサポーターは

高齢者特有のニーズに適応し、高齢者の目線に寄り添った接客サービスの提供と創造を担う存在として期待が高まっている。現在は銀行などの金融業、鉄道・バスなどの運輸業などのほか、小売業、飲食業、宿泊業、娯楽業(映画館・スポーツ施設等)といった幅広い業界で活動を行っている。

サービスケアサポーター
(高齢者等理解・体験・安全マネジメント研修)に関する
お問い合わせ先

「サービスケアサポーター」事務局

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-20-5 S-GATE八丁堀 7階
(株式会社日本医療企画 関東事業部内)
TEL:03-3553-2885 FAX:03-3553-2886

問い合わせフォーム

<https://www.jmp.co.jp/scs/inquiry.html>

日本医療企画

医療・介護事業経営WEBセミナー2023 目前に迫る『2024年度医療・介護同時改定』!! 動向と対策から導く生き残り戦略

講演 前半

『2024年度医療・介護同時改定』の行方を検証

講演 後半

成功事例から学ぶ、病院の経営戦略と経営改善
古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)

■主な内容

- ・2021年介護報酬改定の要点
- ・2022年診療報酬改定の要点
- ・2024年ダブル報酬改定に向けたポイント
- ・経営戦略の転換から経営改善に成功した事例
- ・将来のあり方から逆算した新病院建て替えの検討方法

■日時:2023年2月26日(日)13:30~15:30

※15:00~15:30 WEB情報交換会&フリーディスカッション

■開催方法:オンライン(Zoomによるライブ配信)

■対象:病院、診療所、介護事業所

■参加費:無料

■定員:100名

■共催:大和ハウス工業株式会社

お申し込みはこちら▼

<https://www.jmp.co.jp/seminar/kansai/webseminar20230226/>

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 関西支社
医療・介護事業経営セミナー
TEL:06-7660-1761



日本医療経営実践協会

第11回 全国医療経営士実践研究会・WEB大会 病院経営は新たなステージへ! 医療経営士の職域確立からはじまる人材革命

プログラム

【配信】特別対談 アフターコロナ時代の医療と経済、医療機関経営

石田昌宏氏(参議院議員)

吉長成恭氏(大会運営委員長/一般社団法人日本医療経営実践協会参与/
甲子園短期大学特任教授 教育研究センター長)

【配信】基調講演 医療経営士の職域確立とこれからの人材教育

神野正博氏(一般社団法人日本医療経営実践協会理事/一般社団法人日本医療
経営職域対策協議会代表理事/公益社団法人全日本病院協会副会
長/一般社団法人日本病院会常任理事/社会医療法人財団董仙会
恵寿総合病院理事長)

【配信】トークセッション 座談会 病院経営は新たなステージへ!

——今、求められる“人財”と組織体制

【ライブ】スペシャルトークセッション 医療経営士 思考塾

医療経営に関する悩みを参加者全員で考えよう!

2022年11月8日(火)15:00~16:00

【配信】医療経営士 演題発表

【ライブ】演題発表者 ディスカッション・質疑応答

2022年11月17日(木)14:00~17:00

■参加費:医療経営士・介護福祉経営士 3,000円、一般 5,000円 ※税込

視聴期間延長!
2023年1月31日(火)
18:00まで

お申し込みはこちら▼

<https://conference-jmmpa.jp/>

お問い合わせ

一般社団法人日本医療経営実践協会
TEL:03-3553-2906



保健・医療・福祉サービス研究会

2024年制度・報酬大改革と老健施設の新戦略セミナー 2024年制度・報酬大改革に備えた 2023年度老健施設の新経営戦略

介護保険制度改正の審議報告の詳細を解説するとともに、2024年介護報酬改定を含め、“先手必勝”の経営戦略策定について分かり易く解説。また、制度・報酬改革を組織改革・サービス改善・人材育成のチャンスと捉え、老健施設の経営改善の具体策について、実践事例を含め学ぶ。

■日時:2023年1月14日(土)13:30~17:30

■講師:小濱道博氏(小濱介護経営事務所代表、株式会社ベストワン取締役)

田中優至氏(保健・医療・福祉サービス研究会代表)

■開催方法:会場&オンライン&オンデマンド&DVD&CD(選択可)

■会場:コリドースクエア銀座7丁目2F(HMSセミナールーム)

(東京都中央区銀座7-2-22)

■参加料:一般▶28,600円、HMS会員(法人・個人会員)▶25,740円、

購読会員▶27,170円 ※税込

お申し込みはこちら▼

<https://www.hms-seminar.com/seminar/?id=1668402795-989553>

お問い合わせ

保健・医療・福祉サービス研究会
TEL:03-6823-8700



日本医療経営実践協会

令和5年新春特別講演会 医療・福祉の人間力 ——スピリチュアルケアとは?

講演

玉置妙愛氏(看護師・僧侶・スピリチュアルケア師・ケアマネジャー・看護教員)

■配信日時:2023年2月1日(水)~2月28日(火)

■開催方法:オンデマンド配信

■参加費:無料

お申し込みはこちら▼

<http://www.jmmpa.jp/>

お問い合わせ

一般社団法人日本医療経営実践協会
TEL:03-3553-2906



介護経営Lab 投稿募集中!!

介護経営Labは介護福祉経営士の皆さんが普段感じられている悩みや、疑問をご投稿いただき、有志の介護福祉経営士がそれに応える読者参加型の企画です。

お寄せいただいた投稿を「介護福祉経営士ニュース」の紙面上で紹介させていただきます。(また、記事の寄稿をご希望の場合は同フォームの備考欄にご記入ください。「介護経営Lab」とは別に記事掲載に関してご連絡させていただきます)

URLをクリックまたはタップすると投稿フォームに移動します

<https://forms.gle/CYdvT3c3zPirsimj6>

